

## 平成 24 年度 第 1 回 成田市保健福祉審議会

日時：平成 23 年 8 月 8 日（水） 13：30～16：00

場所：成田市役所 議会棟 3 階 執行部控室

参加：(委員) 亀山会長、青木副会長、林田委員、高濱委員、  
田村委員、平間委員、大木委員、山岸委員、  
眞鍋委員（欠席 6 名）

(事務局) 深山福祉部長、高木健康こども部長、塩田社会福祉課長、佐久間高齢者福祉課長、金崎障がい者福祉課長、小川介護保険課長、高橋子育て支援課長、加瀬保育課長、吉井健康増進課長、設楽社会福祉課主幹、三橋障がい者福祉課主幹、石橋高齢者福祉課副主幹、石井介護保険課副主幹、三橋介護保険課副主幹、坂本子育て支援課副主幹、菱木保育課副主幹、高橋保育課主査、小野健康増進課主査、山本健康増進課主査、窺障がい者福祉課主査、渡辺社会福祉課主査、

議題：（１）成田市総合保健福祉計画平成 23 年度進捗状況について

（社会福祉課・健康増進課）

（２）後期成田市次世代育成支援行動計画平成 23 年度進捗状況について

（子育て支援課・保育課）

（３）第 2 期成田市障がい福祉計画達成状況について

（障がい者福祉課）

（４）第 4 期成田市介護保険事業計画達成状況について

（介護保険課・高齢者福祉課）

（５）その他

## 議事

福祉部長あいさつ

会長あいさつ

委員紹介

事務局紹介

傍聴人なし

(1) 成田市総合保健福祉計画平成23年度進捗状況について

(社会福祉課・健康増進課)

塩田課長：概要説明

吉井課長：概要説明

田村委員：前回民生委員児童委員について発言させていただきましたし

たが、少し言葉が足りなかったようでした。虐待や孤独死が発見されたときに民生委員を責めるのは間違いであるという記述が議事録に載っていましたが、少し言葉が足りなかったと思います。その地区に住んでいる方が何かあった時にどこに連絡すればいいのか、民生委員は誰なのかわからないことが多いようです。地区の住民と民生委員とのパイプをもっとしっかりと作っていくことが行政の役割ではないかと思います。民生委員の人が一生懸命やっても地区の情報が民生委員に入りづらいというところに一つの問題点もあるのではないのでしょうか。その辺を伝えなかったのですが、少し言葉足らずでした。民生委員の姿が見えづらい状態だと思いますので、その辺のバックアップをもう少しお願したいと思います。

山岸委員：私の地区の民生委員と思っていたら、違う地区を担当していました。そういうことはよくあることだと思います。なんかあった場合すぐ対応できないと心配であると少し感じました。

塩田課長：情報の発信についてですが、民生委員の改選があった場合には広報なりたで名簿を公表しています。民生委員の方から自分の活動内容が見えないので、市の方で広報活動をしてほしいとのご意見もいただいております。また民生委員さんは自治会からの推薦をいただいているわけですから、そちらの方面からも情報の発信を考えていきたいと思っております。

山岸委員：敬老会が今年から地区ごとに開催されることになりましたので、そういうときに民生委員を紹介できると、敬老会を地区ごとに開催するメリットもあると思っております。

青木委員：地区の会長と話をする機会はあまりなく、民生委員の推

薦のときなどに初めてあって話ができるような状態です。自治会と民生委員との結びつきが、意外とあるようではないです。市民協働課との関係もあるのですが、区長会と民生委員とをつなげていくことによって関係が広がってくるのではないのでしょうか。

眞鍋委員：自分は民生委員をやってますよと町内に自分の方から行くのは自信がありません。ただ何らかの形で関わったところから、あの人は民生委員なんだという様に広がっていくのだと思います。実際は高齢者のお宅にはお伺いしますが、小さなお子さんのいる家族などからは離れてしまいます。民生委員さんて何をしている人だろうと思う方もいるのではないのでしょうか。

山岸委員：たまたま老人クラブに民生委員さんがいらして、違った角度からお話しを聞いたことはよかったと思います。その時は先方から民生委員であることを名乗ってくれました。

林田委員：健康増進課の母子保健に関してですが、2歳児歯科だけ来所率が80%を切っています。来所率を上げる方策は考えているのでしょうか。

吉井課長：広報なりた等でお知らせはしているのですが、なかなか来所率が上がらない状況です。今後は歯科医の先生や歯科衛生士も含めて、いっしょに検討をしてみたいと考えております。

林田委員：健康診査の中で乳がんの受診率が21年度は20%台だったのが、22年度からは30%台に上昇していますが、これはマンモグラフィー検査を取り入れたためでしょうか。

吉井課長：マンモグラフィー検査と超音波検査を予約制で実施したことにより、待ち時間の軽減につながり、受診しやすい環境となったことが要因であると考えております。

眞鍋委員：実際に受診に来ない人もいると思いますが、そういった未受診の方に対してはなにか対応はしているのでしょうか。

山本主査：検診に来られない方には電話連絡をしています。さらに電話が繋がらない場合は、家庭訪問も行って受診をお願いしています。

眞鍋委員：母子手帳は現在までの経過がわかって非常に便利だと思いますが、市民1人1人にそういうものは作れないでしょうか。どの課にまわしても1冊ですむような手帳があると便利だと思います。

山本委員：現状では難しい状況です。母子手帳を大事にしてもらっています。

青木委員：これからの子どもの健全育成を図るということで、子供が生まれた時か1歳になった時に、母親と子供に絵本を

差し上げるということを富里市や千葉市で行っています。  
素晴らしい事業ですので検討していただければと思います。  
す。

高橋課長：ブックスタートと言われている事業です。4ヶ月赤ちゃん相談や1歳6ヶ月児健診の時に絵本を配り、読み聞かせの大切さなどをお伝えするものです。県内の市町村でも実施しているところが増えており、議会でも一般質問で取り上げられました。図書館でも0～1歳児の読み聞かせを行ったり、健診時などにはお薦めの読み聞かせの本のリストを配布したりしています。今年度中に4ヶ月児相談などに読み聞かせの大切さをお伝えする方法を考えて導入していきたいと思います。図書館や健康増進課の協力を頂きながら、親子の関係づくりに着目して事業を進めてまいりたいと思います。

眞鍋委員：健康診断の時などに健康相談や育児相談などもその場でいっしょにできると大変喜ばれると思いますが、そのよ

うな体制づくりは難しいでしょうか。

山本主査：発達心配なお子さんに対しては、3歳時健診の時に心理の先生にも同席してもらっています。その他個別的に月3回、1人に1時間程度相談を予約制で行っております。

吉井課長：対応できる体制ができる方向になるべく向かっていきたいとは思いますが、先生の都合もありますので、現段階では予約制をお願いしているところでございます。

高濱委員：私は現在妊娠中ですが、上の子2人もこれからもお世話になると思います。成田市は大変きめ細かくやっていると思います。ただ日によっては大変混んでいて上の子も連れて行くので、へとへとになってしまうことがあります。またスタッフの人数にも日によって差があるように感じます。時間や地区で受付を分けるだけでも違うと思います。

山本主査：午前と午後に分けていますが、先生の診察の時間との調整も必要です。1歳半児健診は項目も多いし、面接時間もかかります。特に夏休みは兄弟を連れてくる方が多いのでいっそう混雑してしまいます。受付時間に差をつけることなどについて今後検討していきたいと思います。

田村委員：成田市で現在、ひきこもりの人数は把握していますが。

高橋課長：子育て支援課では把握してません。

金崎課長：精神疾患のある方の手帳所持者の数などは把握していますが、ひきこもりの数という形では把握していません。

田村委員：ひきこもりは当事者では解決できないと思いますので、行政の力が非常に大切だと思います。行政にもひきこもりの問題に取り組んでいてもらいたいと思います。そのためにも人数の把握は必要かと思いますので、ぜひともよろしくお願いします。

(2) 後期成田市次世代育成支援行動計画平成 23 年度進捗状況について (子育て支援課・保育課)

高橋課長：概要説明

田村委員：24年度新規の4項目について、今後期待される分野だと思いますので、ぜひとも実現を目指していただきたいと思います。(①子どもショートステイの実施、②養育支援訪問事業の実施、③5歳時健康診査、④認可外保育施設利用者補助事業)

高濱委員：保育園の一時預り事業についてですが、利用者の目標3万件に対して実績が1/3程度ということです。今日も吾妻保育園に預かってもらっているのですが、集団生活を学ぶことができるので、非常にありがたいと思います。ただ、バスタオルに全部に名前を書くといった準備も大変ですし、利用したい1ヵ月以上も前に予約しなくてはならず、はっきりとわかるのが月末ということで、預けるまでの敷居が高い気がします。

高橋主査：一時保育はニーズがあり、利用者も多いため調整が必要となるので、1ヵ月前までに予約をしてもらっていますが、現在建設中の赤坂の仮設園舎の中にも設置する予定ですので、若干緩和されると思います。予約方法については、今後検討してまいります。

眞鍋委員：出産を控えているのだけれど、現在一緒に住んでいる子供をどうしたらいいかと心配している人がいます。一時預りという制度そのものをわからない人も多いようです。出産の時にはこういう制度がありますよという様に、より具体的に伝えてあげないとわからない人もいますようです。

高濱委員：付け加えさせていただきますと、一時保育は5時までですので、父親は迎えに行けません。延長料金を取ってもいいから6時や7時まで預かってもらおうという選択もできるようにしていただけると助かります。

加瀬課長：前後30分程度の延長はできるようにすることを現在考えています。それ以上は保育士の配置の問題等ありますので、現状では対応できない状況です。

高橋課長：情報発信についてですが、現在手作りで子育てガイドブックを編集しています。これをあらゆる機会に見ていただき、様々な情報をお知らせしていくようにしていきたいと思います。

### (3) 第2期成田市障がい福祉計画達成状況について

(障がい者福祉課)

金崎課長：概要説明

平間委員：「里山を利用した障がい者と市民の交流モデル事業」とはどのようなものなのでしょうか。

金崎課長：しもふさ学園に隣接している土地が荒れ放題になっていたのですが、そこに桜の木を植えるなどして里山として

整備いたしました。近隣住民の方も利用しています。

田村委員：住民の方も一緒に掃除をする等といった交流もあるので  
すか。

金崎課長：そのようになれば良いなと思います。

田村委員：就労支援について、17人の内10人が市の補助期間終了後、施設と雇用契約をするに至ったということで、すごくうれしいことだと思います。施設側にとってはハードルが高いと思います。ただ反面17人の内7人は契約をうち切られてしまったということです。その7人に対して何らかの方策を行っていただきたいと思います。障がい者の方の心の問題もありますのでよろしくお願ひします。全体としては本当によく動いて頂いていると思います。

(4) 第4期成田市介護保険事業計画達成状況について

(介護保険課・高齢者福祉課)

小川課長：概要説明

佐久間課長：概要説明

高濱委員：地域事業支援事業についてですが、見込額と実績額がかけ離れていますが、それについてはどのように考えているのでしょうか。

佐久間課長：見込額につきましては事業費の積み上げではなく延び率で算しています。単年度の額は別にあります。平成22年度の実績額と平成23年度の実績額とで比較していただければわかりやすいと思います。

高濱委員：わかりました。

(5) その他

塩田課長：次回の開催は2月を予定しています。よろしくお願ひします。

田村委員：成年後見人支援制度というのがあります。成田市の規則によりますと、市長申立に限られています。香取市・神崎町・芝山町では市長申立でなくても助成が可能です。成田市でも今後助成制度の見直しをお願いしたいと思ひます。